

網膜走査型レーザーアイウェア RETISSA Display II

～株式会社QDレーザ～

製品外観



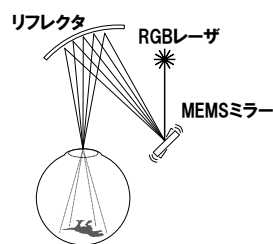
水平視野角	約26度
アスペクト比	16:9
解像度	720P (1,280 x 720) 相当 60Hz
色	8bitフルカラー(256階調)
映像入力	HDMI Type A 1920x1080
電源入力	DC 5V (USB Micro B)
駆動時間	約200分 (外部給電時約136分)
サイズ (W x H x D)	プロジェクタ部: 65 x 20 x 83.5 mm 本体部: 74 x 150 x 29.5 mm
重量	プロジェクタ部: 約40g 本体部: 約260g

従来技術との比較

網膜投影



- ・視力やピントに依存しない
- ・実視界とピントの齟齬がない
- ・ピント移動がなく疲れにくい

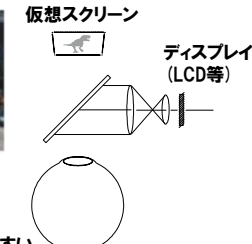


網膜に直接照射された
画像をダイレクトに認識

従来技術 (仮想スクリーン方式)



- ・視力やピントに依存する
- ・実視界と映像の間にピントずれが生じる
- ・ピント移動などがあり疲れやすい



仮想スクリーンに
投影された画像を視認

応用例



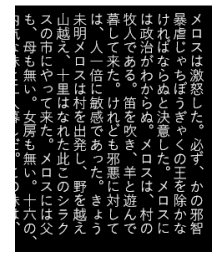
ライブ・エンタメ



GPSナビゲーション



スポーツ観戦



電子書籍

提供価値

商用化済

- 視力の影響を受けにくい投影方式で、視力に課題のある方にも、矯正無しで、ボケのないクリアな映像・文字情報を提供します。
- 注視する距離に依らず、視界に溶け込む自然なARを実現します。
- 汎用AR技術と比較して、目の疲れが起こりにくいと考えられ、長時間装用を前提としたスマートグラスなどへの応用が期待されています。

概要

- 低出力RGBレーザとMEMSミラーを組み合わせた超小型プロジェクタで、網膜に直接映像を投影する技術です。
- 投影された映像は、ユーザーの視力やピント位置の影響を受けにくい特徴をもち、近視・遠視・老眼・乱視など、視力に課題のある方でも、メガネやコンタクトレンズの矯正を必要とせず、クリアな映像を見ることができます。
- ユーザーが遠くの風景、近くの手元などいずれの距離を注視していても、投影画像はピントのズレがなく実視界と重なります。
- 同種技術と小型のカメラ等と組み合わせ、視覚支援を目指した医療機器の開発を進めています。

コラボレーションパートナー

- QDレーザの網膜走査型レーザーアイウェアとドコモやNTTグループの先端技術やサービスをとの連携で、便利で快適な生活を実現する新たなサービスの創造に取り組む
- NTTドコモ・ベンチャーズの出資先企業

